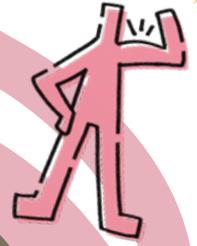


ご縁の「縁」+楽しむという意味の英語「ENJOY」=「縁じょい」つながりながら楽しもうという取り組みです。

高齢者お助け人講座を 開催!



お助け人が足りない!?

地域でその人らしく住み慣れた場所で生活していくためには、医療・介護の分野の支援のみならず、**生活を支えていく仕組みが必要です。**

しかし、その重要な担い手が不足していることが全国的な課題となっています。

去る、令和5年12月12日(火)、宮代町立図書館にて、**高齢者の困りごと(電球交換・ゴミ捨て・庭木の手入れ等)を解決する「お助け人」として、地域で活躍する人材を発掘するための講座を開催しました。**

当日の様子

講座当日は、**様々な世代から10名の方が受講し、**町内で活躍する団体(宮代台みどりの会・認定NPO法人きらりびとみやしろ・株式会社御用聞き・宮代町社会福祉協議会ホームヘルパーステーション)の代

表が講師となり、それぞれの活動を丁寧に説明しました。

講座終了後には、町内で生活支援の活動を行っている4団体の代表の方が、それぞれの団体のPRを行い、**1名の方が担い手として繋がりました。**今後も、町と社会福祉協議会

では工夫を凝らし、1人でも多くの方が地域の生活を支える担い手として、町内で生活支援を提供する団体に人材をつなげていこうと思います。



多くの皆さんが、『**縁の下の力持ち**』となって、宮代町を支えています。世代を超えた支え合いのまちを目指し、ぜひ、皆さんのご参加をお待ちしております。



介護入門研修 ～身近な人の「もしも」に備えよう～

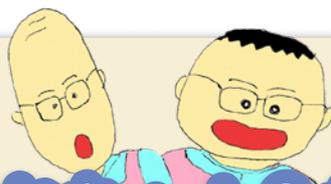


令和6年2月27日(火)福祉交流館すてっぷ宮代にて、**介護入門研修～身近な人の『もしも』に備えよう～**を実施しました。近年、新聞やテレビなどのメディアで「人生100年時代」という言葉をよく見聞きするようになりました。平均寿命が伸びたことで、長生きする方が増え、介護を必要とする方も増えています。以前は「介護なんて私には関係ない」で済んだかもしれませんが、必要な支援を受けながらその人らしい生活を送ることが普通となりつつある現在では、他人ごとではありません。身近な人や自分自身を含め、介護に関する知識を学ぶことで、いざという時の準備をしていきましょう。今回参加された皆さんは、大変熱心に研修に参加していました。今後も介護入門研修を継続していきますので、ぜひ参加してみませんか。



◀座学による介護に関する学習です。宮代町健康介護課の職員、地域包括支援センター「もみの木」の皆さんが担当しました。

実際の介護保険における利用方法や、介護技術については、宮代町社会福祉協議会の職員によるロールプレイや実技を交えた説明がありました。▶



宮代町社会福祉協議会
林直人 & 川邊貴充

男性ヘルパーなおちゃん&たかちゃん物語 大盛況のうちに終了!

令和6年3月2日(土)に福祉交流館すてっぷ宮代ロビーにて、男性介護ヘルパー2人(宮代町社会福祉協議会ホームヘルプステーション)を講師に、**宮代町主催の男女共同参画に向けたセミナーが開催されました**。介護の現状と男性の家事について、2人で掛け合いながら、興味深く話す言葉に参加者はずっと耳を傾けていました。

講演会の最後に、男性の家事への関心が高まり、男性ヘルパーが増えることに期待をこめて、「**男女共同参画に向け、男性も女性も意欲さえあれば、あらゆる分野で活躍できる社会をつくっていきましょう!**」とまとめました。皆さん、2人の今後の活躍にご期待ください!



▲当日の様子は、埼玉新聞の紙面にも大きく取り上げられました。今後の2人の活躍には目が離せません。